

とらすととれいん

No.88 1997

September

スハフ43のカーテン交換と オハニの白熱灯化が完了

10月4日にお披露目運転!!



長年の懸案であったスハフ43のカーテンの交換が、前回の運転日である8月30日に工事が完了し、オハニ36の白熱灯化とともに、その新しい姿を私達の前に現してくれた。



8月30日の運行状況

ボランティア参加者	14名
	(初参加2名)
乗客数	下り 159名
	上り 63名

見違えるほどに明るくなった車内

黄 葆生さんの思い出

黄さん、あなたは楽しい楽しい趣味の世界の入口にいらっしゃいます。又、好きな好きな鉄道とそれにかかわるトラスの運動に熱心に活躍され、これからも関西鉄道サークルの良きリーダーとしてなくてはならない存在であって、私達は永遠の仲間・友達として続いてゆくものだと信じていました。

黄さんは若く、その若いこれからの生涯を次世代の鉄道サークル活動に引き継いでいってもらう事を希望し、又それにふさわしい人である事は誰でも思っていました。

6月の始め頃私のところに「阪急のP-6の動態保存運転のとき写した写真が良く出来たので見てもらいたい、いろいろ話もあるので末にでもビールを飲みながら話をしようよ」との電話があり、楽しみにしていました。

7月に入って間もなく訃報の連絡を今津さんより知らされ、全く信じ難く、それが現実であった事に残念とも無念とも全く言い様の無い気持ちでいっぱいでありました。

トラスト会報6月号のサークルだより「加悦SLの広場」が最後のたよりになっていました。黄さんは鉄道に関しては大変広い範囲で興味を持っておられ、とうてい私のような車輛本位とは及ぶものではなく、それでも親しくお付き合

いをさせていただきました。

思い出せば10年程前、トラストレインPRと鉄道車輛などの保存についてのパンフレットを、宝塚ファミリーランドにある電車館に置いてもらうようお願いに2人で訪問しました。その時、黄さんはトラストレインは鉄道車輛の動態保存の新しい活動である事等熱の入った話をされ、館の方も感心されたと共に館の方からも車輛保存についての苦労話等を聞かされました。そして当時そこに保存されていた阪急の1型や新京阪のデ口10型の車内を見せて戴いた思い出は、黄さんと出合って間なしであった頃だと思えます。

又、阪神パークには阪国の1型や金魚鉢こと71型流線形電車についても未永く保存してもらえる様に訪問しようという事になったが、前後して解体された事を知り、残念がり悔やんだものでした。この事は後日大井川鉄道の白井さんから、関西の様に大変貴重な

車輛が多いのに鉄道ファンは写真のために車輛を追いかけるだけであり、本当の活動のあり方についてきびしく批判された記事が二度程出ました。黄さんと共々大いに反省したものでした。

今秋の予定、京都の梅小路にある二条駅舎とN電の見学会も大変楽しみにしておられました。サークル活動にまつわる黄さんの思い出話は尽きる事はありません。この追悼文を書きながら、今日八月七日は関西では七夕祭りであり、夜空を仰ぎ見ましたが大阪では空が晴れていても銀河は見えません、しかし黄さんは今頃、ある星座ステーションから銀河鉄道の旅に出発し、星座めぐりを楽しんでいるかも知れません。ご冥福をお祈り致します。合掌。

小島 洋

「在りし日の黄さんと共に」
(前列左から二人目)
あやめ池遊園地、大軌1型車内



カルカッタの乗り物短見 その2 後藤正治



ダムダム付近で。食料を積んだ荷車。6人掛かりで引いているのを見た。(日本名、大八車)

地下鉄 前は旧宗主国イギリスをマネたのか日曜午前中の休業時で乗れず、今回やっと乗車しました。夕方ラッシュ直後で客は多いのですが、10分以上の間隔でした。

ゲージは国鉄 1,676 mm と同じですが、正面の感じでは国鉄近郊電車ほどワイドに見えませんが、車体カラーは上部オレンジ+下部グリーンとクリーム+ブラウンの2種あるようです。

ホームのエスカレータがめずらしいのか、子供が何回も登り降りし、それを見ている親もいます。又、改札口は、切符を入れてターンバックルを廻す、インドで初めての無人機であるため、勝手が分からない客を誘導する駅員がそばに居ると云うインドらしい場面も見られます。

地下鉄は市電と共に、インドではカルカッタだけにしかありません。20km ならずの区間ですが、市内中央部の工事に手間どり

バス 旧英国植民地のトレードマーク2階バスが、何故かカルカッタにはありません。変わって



市、中央部交差点で。地下鉄工事終了直後。上部黄色がTAXI。左端は日本のスズキ、インド製唯一の日本車。

るのは、車体は大型でも長さの短いミニバスで、やたらと混んでいる大型バスをしりめに、シート定員(25~30名)で走ることです、無論少々高いですが.....。他に屋根が黄色のタクシー。インドの国民車アンバサダーが主で

初めの部分 開通より10年近くもかかり最近やっと全通したのです。人間の多いインドのこと、大型の建設機械を余り使わず工事をしていたからかも知れません。

す。昭和30年前後の日本にも有った小型3輪「ミゼット」に似たオートリクシャー(定員3名)やはり日本の戦後名物、日本名リクタク、サイクルリクシャー。日本の人力車が語源だと云う人力、リクシャー、など日本ではすでになくなったものも、まだ色々有るのです。

タクシーは、古い車が多く今回1968年製だと云うタクシーに乗りました、6時間も!

リクシャーは、低速のため以前から広い道を走れないなどの制限を受けていましたが、今年、営業禁止の法が出され一悶着している様です。

最後に 鉄道ファンがインドで特に気を付けたい事は、日本のファンには意外と思われるが、鉄道施設が写真撮影禁止に成っていることです。何事に依らず大まかなインドの事、メッタに注意など受ける事は有ませんが、一

応、頭にに入れていた方が良いでしょう.....。



ダルハウジー広場で。柵の中の池を一廻りするループでひとつのターミナルに成っていて、此処から各方向行きが発車する。

いんぷおめいしょん

鉄道サークル定例会のお知らせ

日時:10月1日 18:30~

場所:財団事務所

会費:2,000円程度(食事・飲み物付き)

参加申し込みは、電話で財団事務所まで。当日の飛び込み参加も歓迎ですが、食料等は自己調達です。ヨロシク。

大井川一泊観劇ツアー開催

日時:10月4日 ~5日

(予定)

7月のパーベキュー大会は好評のうちに終わりましたが、一つ心残りな事が有りました。それは、宿泊していた百楽園で旅回りの一座が公演を行っていたのを見られなかった事でした。

そこで今回、再びあの百楽園に宿泊し、翌日の日曜日にそこの大広間で芝居を見ながら、大いに盛り上がるという計画が進行中なのです。

但し、その日に芝居を上演しているかは現在調査中です。

芝居を上演していなかった場合でも宿泊はする予定です。

申し込みの締め切りは9月30日 までをお願いします。

詳しくは財団事務局、松本さんまでお問い合わせ下さい。

当日17時頃までに新金谷駅来られる方も参加可能です。

夕食は、宿でとるか、島田もしくは焼津に繰り出すか、未定です。

以上、未定の項目が多いですが、参加してみたいと思われる方は、参加表明だけでもしておいて下さい。

カーテン募金について

財団法人日本ナショナルトラスト事務局

日頃、当財団の事業につきましては、ご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

この度はカーテン募金78口のうち、3口にご寄付頂きありがとうございます。おかげさまで、8月末に取り替え工事が終わり、明るくきれいな車内になりました。

当初、カーテン募金は78口の限定で集めておりましたが、募金締め切り後に2口の募金が集まり募金者のたつての希望でカーテン募金の受け付けということになりました。本来ですと3口分の募金ということで、募金リスト配置図の3枚分のカーテンに、サークル名をお書きしなければならぬところ、誠に恐縮でございますが、1枚分に3口と表記をさせていただきますこと、何卒ご了承いただきたくお願い申し上げます。

今後ともよろしく申し上げます。

10月4日の10周年 記念運転について

現在までに決まっていることをお知らせします。

・C12の往復正方向運転

・スハフの座席の進行方向転換

・C12の転車台での方向転換

(14:30~14:45)

・専門委員の先生方との懇親会

(千頭のSL資料館2階にて)

・特製乗車記念カード

(車内での募金者に)

等等ですが、あくまでも予定であり、変更される場合もありますので、ご了承下さい。

編集後記

先日、ある用事で関西へ行った帰りに、京都駅ビルに寄ってみました。そこのエスカレーターは下から上までズートー一直線になっていて、途中、イベントスペースの観覧席が並行して段々になっている場所があります。仕切りが透明なガラスのため、ちょっと斜め上を見ると、パツが丸見えになりそうです。でも、この日はちょっと涼しかったので、残念な結果になりました。(W)

先日、大井川に取材に来てくれたたメンクラ(MEN'S CLUB)ですが、財団担当者の弁によると「上質な男の時間の過ごし方」のような内容の取材のはずが、フタを開けてみると、なんと余暇の達人になりたい」てなタイトルになっていてビックリ!!やっぱり当日の対応をしたサークル担当者を見て内容が方向転換したのか(T) 次の運転日は9月27日で~。